

2023年度		事業報告	
事業方針	教育事業の推進	豊かな心、健康な体、その両面を育てることを目標に幼児教育を進めた。特に今年度は、1年間を通して園外保育活動を積極的にを行い、四季を五感で感じれるよう意識した。	
	予算編成の基軸	納付金収入 …施設設備費・教材費・絵本代他 補助金収入 …施設型給付費(市)・物価高騰対策(県・市)・預かり保育事業費補助金(県)・安全対策事業費補助金(県)・教育振興事業費補助金(市) その他の収入…補助活動収入・施設利用料収入	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	特別支援教育の推進	発達遅滞及び情緒障がいの園児への個別支援を行い、特別支援 教育を進めた。保健師とも情報共有を行うことができた。
		教育目標の達成	春のタケノコ掘り、枇杷をとったり、園外保育で四季の草花を見つけ、夏は泥んこ遊び・水遊び、大崎海岸でSUP体験や貝殻拾いも楽しんだ。秋にはさつまも掘り・焼いて食べたり、冬にはバケツで氷ができることを学び、正月には福笑い・凧揚げと伝統遊びを楽しんだ。一年を通して季節のものに触れ、移り変わりを五感で感じる事ができた。
2	研究計画	園内研修の充実	浜私幼主催の夏期研修会に参加し、その内容を園内にて他の教諭と共通理解するよう園内研修を実施した。
		各研修会への参加	職員減の為、他団体等主催の研修会への積極的参加はできなかったが、毎月園内にて独自に研修会を行った。
3	地域連携計画	小・保・中との連携	幼保小連絡会を行い、入学までに求める事柄を共有し、それに向けた教育を行った。入学式に参加。町内公立幼保とも意見交換を行い、他園の状況などを知ることができた。浜名湖サービスエリアに年2回、園児の作品を展示。
		地域との連携	ゼロアートさんと共同作品展を開催。グッズ販売や職員がチョコバナナ・ねり飴、親父の会でフランクフルトを販売し、それらの売上げ(38,450円)全額をNPO法人すだちさんへ寄付した。保護者へ「共生社会」についての理解を得られたように感じた。
4	施設設備計画	遊具点検	月一回遊具点検を行い、安全管理に努めた。
		施設点検	補助金を活用し、バスに「置き去り防止ブザー」を設置した。装置に頼らず、乗降人数確認や後方まで目視で確認することを再度徹底した。
5	管理運営計画	点検・評価	自己点検・評価を実施。さらに、学校関係者評価も行い、学園運営に生かす努力をした。又、結果の公表も行った。
		非常事態対応	危機管理マニュアルの見直しをし、改善する点があるか確認をした。地震、災害、事件、事故等が起こったときにはこちらを活用し迅速に対応していく。月1回避難訓練を実施した。
		学校保健安全計画	学校保健安全計画に従って、園児の保健厚生を推進した。
6	財務計画	補助金	施設型給付費の中から教職員に手当を出し、処遇改善に努めた。ほぼ予算通りに計画を進めることができた。夏期期間(6～9月)までのB&Gプール利用料、園内プール・水遊び、大崎海岸等への園外保育バスガソリン代・施設利用料に充てるため夏期活動費を徴収する。